



**武田薬品工業はNimbus Therapeutics社より
後期開発段階のベストインクラスの可能性のある
経口アロステリックTYK2阻害剤「NDI-034858」を獲得**



2022年12月14日

Better Health, Brighter Future

重要な注意事項



本注意事項において、「プレゼンテーション (presentation)」とは、本プレゼンテーションに関して武田薬品工業株式会社（以下、「武田薬品」）によって説明又は配布された本書類並びに一切の口頭のプレゼンテーション、質疑応答及び書面又は口頭の資料を意味します。本プレゼンテーション（それに関する口頭の説明及び質疑応答を含みます）は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申込み、交換、売却その他の処分提案、案内若しくは勧誘又はいかなる投票若しくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明又は形成するものではなく、またこれを行うことを意図しておりません。本プレゼンテーションにより株式又は有価証券の募集を公に行うものではありません。米国 1933 年証券法の登録又は登録免除の要件に基づいて行うものを除き、米国において有価証券の募集は行われません。本プレゼンテーションは、（投資、取得、処分その他の取引の検討のためではなく）情報提供のみを目的として受領者により使用されるという条件の下で（受領者に対して提供される追加情報と共に）提供されております。当該制限を遵守しなかった場合には、適用のある証券法違反となる可能性があります。

武田薬品が直接的に、又は間接的に投資している会社は別々の会社になります。本プレゼンテーションにおいて、「武田薬品」という用語は、武田薬品及びその子会社全般を参照するものとして便宜上使われていることがあります。同様に、「当社 (we, us 及び our)」という用語は、子会社全般又はそこで勤務する者を参照していることもあり得ます。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることもあり得ます。

本プレゼンテーションに記載されている製品名は、武田薬品又は各所有者の商標又は登録商標です。

将来に関する見通し情報

本プレゼンテーション及び本プレゼンテーションに関して配布された資料には、武田薬品の見積もり、予測、目標及び計画を含む武田薬品の将来の事業、将来のポジション及び業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする (targets)」、「計画する (plans)」、「信じる (believes)」、「望む (hopes)」、「継続する (continues)」、「期待する (expects)」、「めざす (aims)」、「意図する (intends)」、「確実にする (ensures)」、「だろう (will)」、「かもしれない (may)」、「すべきであろう (should)」、「であろう (would)」、「かもしれない (could)」、「予想される (anticipates)」、「見込む (estimates)」、「予想する (projects)」などの用語若しくは同様の表現又はそれらの否定表現を含むことが多いですが、それに限られるものではありません。

これら将来見通し情報は、多くの重要な要因に関する前提に基づいており、実際の結果は、将来見通し情報において明示又は暗示された将来の結果とは大きく異なる可能性があります。その重要な要因には、日本及び米国の一般的な経済条件を含む武田薬品のグローバルな事業を取り巻く経済状況、競合製品の出現と開発、世界的な医療制度改革を含む関連法規の変更、臨床的成功及び規制当局による判断とその時期の不確実性を含む新製品開発に内在する困難、新製品及び既存製品の商業的成功の不確実性、製造における困難又は遅延、金利及び為替の変動、市場で販売された製品又は候補製品の安全性又は有効性に関するクレーム又は懸念、新規コロナウイルス・パンデミックのような健康危機が、武田薬品が事業を行う国の政府を含む武田薬品とその顧客及び供給業者又は武田薬品の事業の他の側面に及ぼす影響、買収対象企業との PMI（買収後の統合活動）の時期及び影響、武田薬品の事業にとっての非中核資産を売却する能力及びかかる資産売却のタイミング、当社による省エネルギーへの取り組み及び将来の再生可能エネルギー又は低炭素エネルギー技術の発展による当社の温室効果ガス排出量の削減の程度、武田薬品のウェブサイト (<https://www.takeda.com/investors/sec-filings/>) 又は www.sec.gov において閲覧可能な米国証券取引委員会に提出した Form 20-F による最新の年次報告書並びに武田薬品の他の報告書において特定されたその他の要因が含まれます。武田薬品は、法律や証券取引所の規則により要請される場合を除き、本プレゼンテーションに含まれる、又は武田薬品が提示するいかなる将来見通し情報を更新する義務を負うものではありません。過去の実績は将来の経営結果の指針とはならず、また、本プレゼンテーションにおける武田薬品の経営結果及び情報は武田薬品の将来の経営結果を示すものではなく、また、その予測、予想、保証又は見積もりではありません。

医療情報

本プレゼンテーションには、製品に関する情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で発売されているものではなく、また国によって異なる商標、効能、用量等で販売されている場合もあります。ここに記載されている情報は、開発品を含むいかなる医療用医薬品を勧誘、宣伝又は広告するものではありません。

武田薬品工業が後期開発段階の、ベストインクラスの可能性のある経口アロステリック TYK2阻害剤「NDI-034858」を Nimbus Therapeutics社より取得



- 乾癬に限らず、炎症性腸疾患（IBD）、乾癬性関節炎、全身性エリテマトーデス（SLE）など、他の複数の免疫介在性疾患に対しても、ベストインクラスの有効性および安全性を示す可能性
- 乾癬を対象とした臨床第3相試験は2023年に開始予定；2025-27年度の間において規制当局に申請する可能性
- 当社の疾患領域戦略やIBDを含む免疫介在性疾患に対する深い専門知識を補完し、当社の後期開発段階のパイプラインをより一層強化
- 本契約に基づき、当社は、Nimbus Therapeutics社に一時金として40億米ドルを支払い、年間売上高が40億米ドル、50億米ドルに達した場合には、それぞれにつき10億米ドルのマイルストーンを支払う。一時金は手元資金を原資とする
- 本取引は、反トラスト法に基づく規制当局の審査が完了することを条件に、2022年度末までに完了する予定

高い選択性により、TYK2阻害作用が高まる

- 「NDI-034858」は、開発段階にある新規の経口チロシンキナーゼ2 (TYK2) 阻害剤であり、JAK1、JAK2、JAK3キナーゼよりもTYK2に対し高い特異性
 - 「NDI-034858」のTYK2に対する選択性は、JAK1に対する選択性の150万倍

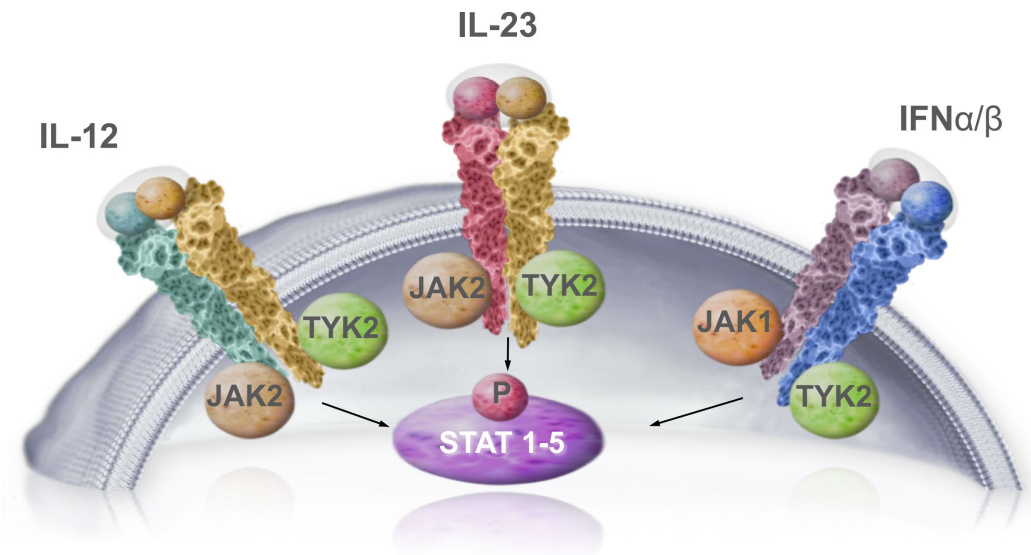
	NDI-034858	Deucravacitinib
TYK-2 –JH2 binding K_D	0.0034 nM	0.0045 nM
JAK1 –JH2 binding K_D	5000 nM	0.49 nM
Biochemical Selectivity (Fold)	1.5×10^6	109
Fold Selectivity (vs. deucravacitinib)	1.3×10^4	

出典：Nimbus社の独自構造に基づくコンピュータモデリング；「NDI-034858」およびdeucravacitinibの生化学的な効力の比較評価（非臨床研究のみを目的としてNimbus社により合成）

**JAKに関連した毒性を惹起することなく
より高い効果が得られる可能性**

チロシンキナーゼ2 (TYK2)

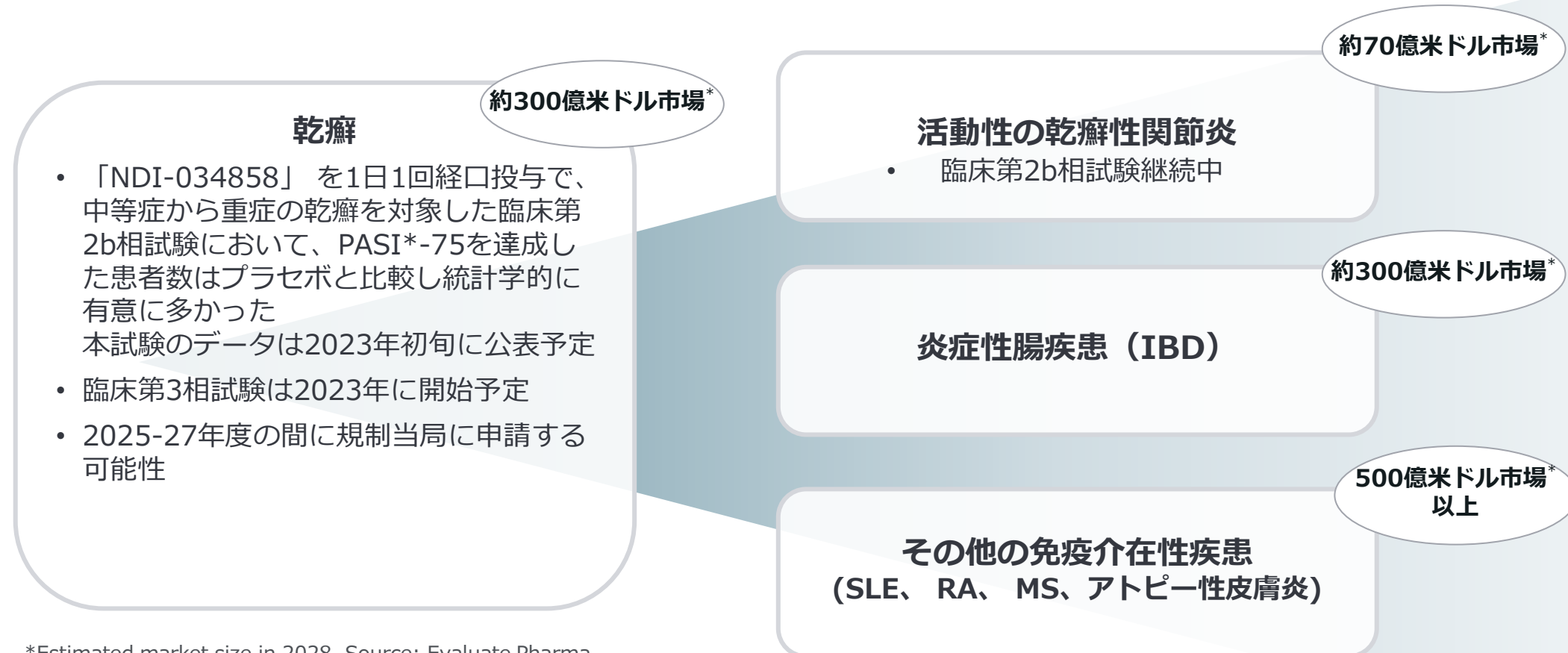
- インターロイキン (IL) -12、IL-23およびI型インターフェロンの受容体に結合しシグナル伝達に関与
- JAK1またはJAK2とのヘテロ二量体であり、いずれかの二量体を阻害するとシグナル伝達が阻害される



複数の免疫介在性疾患においてベストインクラスの有効性および安全性を持つ可能性



- 作用機序により、広範な適応症につながり、数十億米ドルの収益機会をもたらす可能性がある
- 当社の疾患領域戦略や免疫介在性疾患における専門性と合致



*Estimated market size in 2028. Source: Evaluate Pharma

PASI: Psoriasis area and severity index

SLE: Systemic Lupus Erythematosus (全身性エリトマトーデス) ; RA:関節リウマチ; MS:多発性硬化症



Better Health, Brighter Future

© 2022 武田薬品工業株式会社。無断複写・転載を禁ず。